

## 第1回部会における主な意見、指摘事項と対応について

	主なご意見、指摘事項	対応	対応する論点
1	○ 国のあり方答申で、局所ごとの課題に対応する必要性が示されているが、現行の瀬戸内海大阪府計画では、既に、ゾーニングの考え方が盛り込まれている。今回、議論を深めることにより、さらなる環境の改善や魅力発信に結びつけていけると考える。	—	全般
2	○ 湾奥部のN,Pの分布とCODの分布が異なっており、その要因について整理が必要。また、湾奥部の水質の検討をする上では、猪名川水系の影響など、兵庫県側のデータも踏まえて検討する必要がある。 ○ 湾奥部の水質は河川の影響を大きく受けていると考えられる。河川と海の水質の大小関係等について、定量的な検討があるとよい。 ○ 川が海水に流れ込む接合部の状況把握は難しいことは理解しているが、湾奥部の局所的な対策を議論するためには、水質濃度を左右するファクターを把握する必要がある。上流側にどのような排出源が位置しているかなど、多面的な把握が必要である。	ご指摘を踏まえ、湾奥部（兵庫県側含む）の流入負荷の状況と、水質の平面分布について、データを整理した。その結果を、今回、資料1-4、1-5としてお示しする。	1
3	○ 大阪では、合流式下水道で処理されているエリアが多い。合流式下水道については、雨天時の越流負荷の問題があるため、今後の課題として、降雨時の水質のデータ等を見ていく必要があると考える。	ご指摘を踏まえ、府域における合流式下水道の状況等について、情報を収集整理した。その結果を、今回、資料1-6としてお示しする。	1
4	○ 合流式下水道の問題は、汚水の問題やプラスチックごみの流出とも関連し、世界の大都市に共通する課題であり、大阪が率先して対策に取り組むことは有意義と考える。	—	1
5	○ ダムでは、フラッシュを起こして栄養塩を供給したり堆積土砂を排出するような操作が行われている。それに類した運用を淀川大堰等において実証実験的に実施した場合、海流にどのような影響を与えるのかについて、議論の余地があると考ええる。	淀川大堰の運用状況等について情報を収集する。	1

	主なご意見、指摘事項	対応	対応する論点
6	○ 府域でノリの養殖が実施されている阪南市周辺において、例えば下水処理場の栄養塩量を制御する取組み等の必要性を検討するにあたり、ノリの色落ちの状況等について、科学的、定量的なデータを示してほしい。	ご指摘を踏まえ、ノリの色落ち等にかかる知見を収集整理した。その結果を、今回、資料1-7としてお示しする。	2
7	○ ノリの養殖の話に関連して、自然科学的な問題の解決手法に加えて、海面の漁業権の復活など社会的な問題解決の仕方もあると考える。	—  ※ 漁業権について、第1回水質部会における事務局の説明に不正確な点があったため、漁業権にかかる情報を収集整理し、今回、資料1-7としてお示しする。	2
8	○ 堺2区人工干潟や関空での生物生息環境創出の効果や、ブルーカーボンのCO <sub>2</sub> 固定効果等を科学的、定量的なデータを示してほしい。もし現時点では無ければ、実態調査などをして、今後定量性を持たせる必要があると考える。	ご指摘を踏まえ、各取組みの定量的な効果について収集整理した。その結果を、今回、資料1-7としてお示しする。	3
9	○ 環境配慮型護岸の創出の推進等にあたっては、民間企業の工場等が立地している護岸を活用することが必要。まずは、現在の管理状況等を把握することが必要ではないか。	ご指摘を踏まえ、まず、湾奥部における護岸等の状況について航空写真をもとに整理した。その結果を、資料1-8としてお示しする。引き続き、民間企業における管理の状況等について情報収集していく。	3
10	○ 海と川のつながりは重要であり、海と川を行き来する魚について言及する必要があると考える。	—	3
11	○ 公共事業で用いられる資材がマイクロプラスチックの発生源にならないような留意が必要と考える。	—	その他
12	○ ダムが、土砂の運搬やシルトの流出等に与える影響について、底質の観点から漁場環境に影響を与える可能性もあり、データを注視していく必要があると考える。	—	その他

	主なご意見、指摘事項	対応	対応する論点
13	○ 他府県との連携という意味で、資料に、関西広域連合の記載を加えてほしい。	ご指摘を踏まえ、追記する。	その他
14	○ 論点の文章について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論点 1 の「湾奥部が栄養塩の湾全体への供給源となっている」との表現については、現状として、湾奥部から湾南部への栄養塩の供給がスムーズに行われていない実態を踏まえて再検討するべき。</li> <li>・ 論点 3 について、藻場等の整備がクローズアップされているように読めるので、多面的な議論を行うことがわかるように修正するべき。</li> </ul>	ご指摘を踏まえ、文章の修正案を作成した。あわせて、論点 1 について、検討の方向性（事務局案）を作成した。その結果を、今回、資料 1-9 としてお示しする。	その他